



野田小だより

学校教育目標

活力にあふれた学校

- がんばる子
- やさしい子
- 学びつづける子



陰の立役者

平成30年11月1日

校長 小林 達哉

朝晩は、寒ささえ感じる季節になってまいりましたが、保護者・地域の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、10月は、多くの学年の校外学習が行われました。2年生の美園図書館見学、6年生の日光への修学旅行、3年生のヤオコーとロッテ工場見学、5年生のスバルと環境科学国際センター見学、4年生の利根大堰見学と東秩父和紙の里での紙すき体験などがありました。さらに各種の体験活動も行われました。5年生の脱穀体験、竜巻に対する避難訓練、3年生の落花生収穫、6年生のサトイモ収穫、1・2年生のサツマイモ収穫、1年生の移動図書館体験などがありました。



移動図書館

私が、日頃から各種行事がある時に教職員や子どもたちに言っていることの一つに、「集団生活や集団行動を楽しむためには、自分が係や担当者になっていない時が肝心で、他の係になった人が一生懸命その仕事をやろうとしている時には、その仕事がうまくいくように全面的に応援したり、フォローしたり、バックアップしたりすることが大切です。」というのがあります。

今回の6年生の修学旅行では、司会の子が荷物を持ってやりにくそうにしていた子が「持つよ。」と言ってさっと荷物を持ってあげたり、帰りのバスガイドさんの説明を静かに聞けたりしました。また、4年生の社会科見学のバス車内では、レク係の子が、「今から〇〇ゲームをします。」と大きい声で言うと、まわりのほとんどの子が、「イエーイ！楽しみ！」とすかさず盛り上げて、それを聞いたレク係はさらに気分よくなって、分かりやすく楽しくレクを進行していました。さらに、低学年のサツマイモ掘りでは、「うーん。なかなか掘れないよ。」と一人が言うと、すぐに隣の子が「僕が手伝うよ。」と言ってなかよく二人で掘っていました。

野田小には、このように人の気持ちや立場を考えたり、察したりして行動できる子がたくさんいます。その気持ちが互いの絆を深め、集団としての団結力につながって、みんななかよく楽しい野田小学校になるのだらうと思います。私たち教職員もその範を示したり、上手にきっかけを与えたりしながら、今後も子どもたちの思いやりの心や豊かな心を育てていきたいと思っておりますので、保護者・地域の皆様の御協力を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。